コープデリ連合会
「ともに」の力で、笑顔の明日を

Press Release

2026 年 11 月 12 日

日本の米づくりを未来へつなぐ取り組み「ワン・モア・ライス」SNS 投稿で気軽に参加できる「#わたしの推し丼」キャンペーンを展開中！～JA 全農が連携し、同米穀部公式 X「NO RICE NO LIFE」で 11 月 15 日より丼レシピを発信！～

コープデリ生活協同組合連合会（本部：埼玉県さいたま市、代表理事理事長：熊﨑伸、会員生協：関東信越の 6 生協、以下、「コープデリ連合会」）は、日本の米づくりを未来につなげるため、1 日 3 食・1 週間 21 食のなかで米食をもう 1 回増やすことを意識して取り組む「1 週間にもう 1 杯お米を食べよう ワン・モア・ライス」（以下、ワン・モア・ライス）を推進しています。

2026年度は、身近で食欲をそそるメニューであり、必然的に米を消費し、自然な形で米食の頻度や量の増加が期待できる「どんぶり（丼）」をテーマに設定し、SNSへの写真・コメント投稿を通じてお米の消費を盛り上げる「#わたしの推し丼」キャンペーンを展開しております。



「ワン・モア・ライス」特設サイトより

「#わたしの推し丼」キャンペーンを通じて参加の輪を広げています

今年度のキャンペーンでは、日常の「食べた」「作った」「見つけた」どんぶりの写真などを、「#わたしの推し丼」をつけて Instagram などの SNS や特設サイトへご投稿いただく企画を実施しています。組合員が楽しみながら気軽に参加できる環境を整えることで、お米の消費拡大と生産者応援を目指しています。

農林水産省が展開する「楽しもう！にほんの味。～和のこころをつなぐ食の国民運動～」等とも連動し、お米を基本とした和食文化を「知る」「食べる」「作る」取り組みへとつなげます。

JA 全農米穀部公式 X との連携について

コープデリが推進する「ワン・モア・ライス」の趣旨に JA 全農（全国農業協同組合連合会）からご賛同いただき、本キャンペーンにあわせて、2026 年 11 月 15 日（日）から 11 月 21 日（土）まで、JA 全農米穀部公式 X「NO RICE NO LIFE」にて手軽に楽しめる丼レシピを発信していただくことになりました。 同アカウントを通じてお米のおいしさや食べ方の幅広さを発信していただくことで、「ワン・モア・ライス」の輪をさらに広げていきます。



11 月 15 日（日）から 1 週間、JA 全農米穀部公式 X「NO RICE NO LIFE」で発信

「ワン・モア・ライス」とは



日本のお米の消費量は過去 50 年で半分に減少し、米離れや米価低下といった課題に直面しています。「ワン・モア・ライス」は、これらの課題を組合員と共有し、一人ひとりが無理なくお米を食べる量を増やすことで、生産者を「買い支え」により応援するプロジェクトです。

1 日 3 食・1 週間 21 食の中で、今までより 1 食多くお米を食べることを目指します。炊いたごはんだけでなく、パックごはん、冷凍食品のチャーハンや焼きおにぎり、お餅など、手軽な形で取り入れていただくことを推奨しています。2023 年度から取り組みを開始し、2024 年秋からの供給不安定化による一時休止を経て、お米の安定供給を受け 2026 年度より再開いたしました。

コープデリグループでは、組合員の「1 週間に、もう 1 杯食べたい」という自然な気持ちを呼び起こすため、事業と組合員活動を連動させた多角的なプロモーションを行っています。店舗での POP やポスター掲示、宅配事業においてカタログ紙面での関連商品の提案など、消費を後押しする売り場づくりを展開しています。また、各会員生協の組合員活動において、「#わたしの推し丼」キャンペーンの「どんぶり」をテーマにした試食や調理実習・学習会などを通じて「知る・食べる・作る」機会を創出。事業と組合員活動の連携でより多くの組合員の参加とお米の消費拡大につなげています。

コープデリグループは、今後も楽しみながらお米を消費できる企画を通じて、日本の農業を応援してまいります。

コープデリ生活協同組合連合会　概要

【住　　所】 埼玉県さいたま市南区根岸 1-4-13
【代表理事理事長】 熊崎　伸（くまざき　しん）
【会　員　生　協】 コープみらい、いばらきコープ、とちぎコープ、コープぐんま、コープながの、コープデリにいがた
【総　事　業　高】 6,213 億円（会員生協事業高計）※2025 年度
【組　合　員　数】 559 万人（会員生協組合員計）※2026 年 10 月 20 日現在
【ホームページ】 https://www.coopnet.jp/